

大学を生かしたまちづくりの方向性

●3つの方向性

◆大学を「地域の成長エンジン」とした地方創生

教育研究資源の活用やシンクタンク機能の発揮、市との政策連携の強化により、地域に密着した知の拠点、成長エンジンとして、地域政策課題の解決を通じた持続可能かつ活力豊かなまちづくりの実現に寄与する

多様な企業等との連携による共同研究や社会実装を行うことで、新たな価値の創造とSDGsの推進に取り組む

教育研究を通じて社会に貢献するために設置された「徳山大学地域共創センター」や産学官連携を図るために設立された「周南創生コンソーシアム」を充実させ、地域との連携の強化や持続的な発展を推進する

◆地域人材循環構造の確立

地域の小中学校や高等学校と大学との接続強化、地域の優秀な学生を受け入れる制度の確立等により、地元進学率の向上を通じた若者の定着を図る

専門的な学びや地元企業へのインターンシップの充実等を通して、地域の課題解決能力を備えた人材を育成し、地域社会への還元・定着を図る

◆若者によるまちの賑わいの創出

多くの学生がこのまちで学び、教育研究や地域貢献、サークル活動等様々な活動を行うことで賑わいを創出し、地域経済の活性化、知的・文化的価値の創造、大学があるまちとしてのイメージの向上を図る

●育成する人材像

- 正しい倫理観と、多様な価値観への共感を伴ったコミュニケーション能力を有する人材
- 高度な知識と専門性を有し、社会の課題解決に果敢に挑戦し続ける、公共の精神を持った人材
- 地域の視点とグローバルの視点を備え、次世代を切り拓くリーダーシップを持った人材



周南公立大学の役割 と連携

新たな価値の創造・地域の持続的発展による地方創生を実現

